

## 【プロローグ】

「私の出す幾つかの命令に背くことができたなら、あなたの望みをかなえます」

誰がどう考えても怪し過ぎる謳い文句。  
だけど、私はその言葉に乗せられてしまった。  
どうしてもかなえたい望みが、あったから。

私の望みは、幼い頃からの夢……「アイドルになりたい」、というものだ。  
一言付け加えるなら、「一分一秒でも早く」だ。  
アイドルがアイドルでいられる時間というものは、長い人生の中で見れば、ほんの僅かな時間でしかない。  
残酷だけど、だからこそアイドルは何よりも尊く、美しく輝いているのだ。  
この夢を抱くようになったきっかけ。  
幼い頃に見たあるアイドルの生き様がまさにそうだったように。  
短く、儚く。  
だけど何より熱く、激しく燃焼する刹那の輝き。  
……私も、そんな輝きたい。  
目を焼くほどの「憧れ」という輝きに魅せられてしまった私は、そう思わずにはいられない。

だから、この夢を最短でかなえる手段があるのなら、何だって利用する。

それゆえに……私は、ここにいる。

「ゆっ……弓波 燈花(ゆみなみ とうか)ですっ！  
よろしくお願ひしますっ！」

## 【1】

ゆっ……弓波 燈花ですっ！  
よろしくお願いしますっ！

えっと……あなたの命令に従わずにいられたら、  
何でも願いをかなえてもらえる……んですね？

……その代わり、どういう結果に終わっても一切責任を負わない……ですか。  
しかも挑戦の内容はネットで配信される……と。

配信、って……

え？

選ばれたごく一部の人間しか見れないから安心・安全？  
ふうん……

それで、命令っていうのはどういう……？

はあ……なるほど。

挑戦者によって変わる、と……

じゃあ、私の場合はどういうものになるんですか？

え？私のかなえたい願いを知りたい、って……

ああ、つまりそこから命令が決まるわけですね。

わ、分かりました……

私の願いは……アイドルになること、です。

小さい頃からの夢で……それをかなえるために、ここに来ました。

だったら、こんな所に来ないで正攻法でかなえろ、って思いますよね。

それについては、私もそう思います。

でも……私は一刻も早くアイドルになりたいんです。

アイドルがアイドルでいられる時間には限りがある……

私は一秒でも長く、アイドルでいたい。

あの日、初めて見たアイドルのステージに負けなくらい、

私も輝きたいんですっ……！

あっ、す、すいません……熱くなっちゃって……

恥ずかしいな……

私、この夢のことになると周りが見えなくなっちゃって……

先日も、親と喧嘩しちゃったんです。

えっ……？

は、はい……ありがとう……ございます。

わ、笑わないでくれるんですね。

みんな、馬鹿な夢だ、って言うんですけど……

.....そう、ですね。  
絶対夢をかなえて、見返してやりたいです.....！！  
はい.....っ！  
が、頑張りますっ！

#### [催眠発動S E]

あの.....それで、最初の命令は.....

『着ている服を全部脱げ』.....？

な、ななっ.....何を言って.....っ！？  
そっ、そんな命令.....！

#### [態度では反発しつつも命令に従い衣服を脱ぎながら]

従う.....ん、っしょ.....わけ.....が.....んっ.....  
えっと.....あれ.....？  
うん、しょっ.....  
.....え？  
何で私、服.....脱いで.....？

え？  
あ.....ああ、そうでしたね。  
私は夢をかなえる為、あなたに、は、裸を.....  
裸の姿を見せないといけないんです。  
う、うっかりしてました.....ごめんなさい。  
全裸にならないと、あなたの命令を聞くことができないのに.....  
もう、何やってるんだろ.....私.....  
最後にパンツを脱いで.....  
んしょ.....  
.....はい、これで準備万端です。  
きれいな身体だね.....って、アイドル志望として当然です。  
でも.....ありがとう、ございます。

自分の身体で特に自信のある部分.....ですか？  
そうですね.....強いて言うなら、胸.....かな。  
大きさは普通だと思うんですけど.....その.....ち、乳首が。  
修学旅行とかで、お風呂の時に.....友達から乳首きれいだね、って言われて.....  
その時は、冗談っぽく返したんですけど.....  
はい、密かに自信があったので、嬉しかったです。  
ふふっ.....まあ、アイドルには関係ないんですけど。

え.....？  
『その自慢の乳首でオナニーしろ』、って.....

#### [催眠発動S E]

あ、命令……

[命令に従い乳首を弄り出すが気付かない。身震いしながら受け答えする]

そ、そういう……えっちな命令も……んっ……するん、ですね……ふっ……  
セクハラ、ですよ……んんっ……！  
まあ……そんな命令、従うわけありませんけ、どっ……！  
ふっ……ふっ……ふぁっ……

ふえ……？

私が、今何してるか、ですか……？

あっ……？

え……？

んっ、ふうっ……いや……こ、これは……っ！

あっ……やっ……あふっ……これはあ……

ち、ちがっ……ひやっ……ちが、くて……うんんっ……！

か、かゆいのお……！

か、痒いから、掻いてるだけ……んふう……なのお……っ！

[指を素早くしならせ乳首を刺激する]

あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっ……

か、痒いから、だからっ……あっ、あっ、あっ、あっ、あんっ！

これ……乳首オ、乳首オナニーとかじゃ……

はっ、はっ、はっ、はっ、んひやっ……ない、からあ……！

[一心不乱に乳首を弄り倒す]

んっ……はあ、はあ……あっ、あぁっ……ふわぁっ……んゆっ……

んやあ……っ！

あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっ……あぁん……っ！

んはっ……はっ……はっ、はっ……ふうっ、ふっ……ん……っ！

あ、やっ……にやっ……！

んひやっ……はっ、はぁん……あっ、あっ、あっ、あん、あぁ……ふうっ！

んっ、んんっ！？

[軽くイク]

んにゆう〜〜〜っ！！？

[いった直後、息を整えるために深く呼吸。しかし乳首を刺激する指の動きは止まらない]

ふう〜〜……ふう〜〜……はあ〜〜……っ！

はあ〜……あっ……んっ……はあ〜〜……っ！

ひやっ、んあっ……！

あっ、あぁっ……？

ふう……ふう〜……

あ、あれ……？

ええ……？

わ、私.....何やってる、のお.....？

[意識が戻り、状況を把握する]

.....へ？

えっ！？

な、なに、これっ！？

[混乱の最中だが、それでも乳首を弄る手は止まらず声をあげる]

きゃんっ！？

なっ.....ど、どうして、こんな.....っ！？

手.....止まらない、よお.....っ！？

あっ、あっ、あっ、あ、ああっ.....！

だめっ、きちや.....っ！

何か.....っ！？

あっ、はっ、はあっ.....！

イ、イ.....イっちゃ.....っ！！

[耐えようとするが、みっともなく乳首で絶頂]

ふっ.....うゝ うん~~~~——ッ！！

[余韻で痙攣し、やがて気を失う]

ンッ、んうううッ！？

な、何.....これえ.....ッ！？！？

ぢ、乳首だけでえ.....はおっ！？

こ、こんな.....っ！

おッ.....！

う、うあっ、ああ〜っ！！

うッ.....おお.....っ！おひよっ.....！？

ほあ.....っ.....

あ.....う.....

おおっ.....！？

お、おお.....

.....ふおお.....

[暫くして、意識を取り戻す]

.....んっ.....！

ここ、は.....っ？

あ、あなた.....！

私に何を.....っ！？

あれっ？

服.....着てる.....？

今のは、夢.....？

え？

夢じゃ.....ないんですか？

~~~~っ！！！？

は、恥ずかしがる必要はない、って……  
あんなの、恥ずかしいに決まってるでしょう！？  
命令に従っただけ……？  
そ、それは……そうだけど……！

続けて挑戦するか……？  
どうせ、またひどい命令するつもりなんでしょう？  
はあ……何であんな命令に従っちゃったんだろう……  
あんな姿……アイドル失格だよ……  
いや、まだアイドルじゃないけど……  
それにしても、大体どういう仕掛けで命令を……？  
ああ、もう……意味分かんない……っ！  
……あ、でも……そうか、この人なら……  
この人なら本当に願いを……

……………あの。  
本当に、あなたの命令に一回でも背くことができれば私は夢をかなえることができるんですよ？

……そう、ですか。

分かりました。  
続けて、挑戦します……！  
次こそ絶対に……負けませんから。

## 【2】

それで……今度はどんな命令をするつもりなんですか？  
言っておきますけど、今度はさっきみたいにはいきませんから。  
さっきのは……油断してた、っていうか……  
と、とにかく！  
私は挑戦に勝って、絶対にアイドルになるんです！

### [催眠発動SE]

だ、だから！

### [口をにんまりとして歯茎を見せる変顔]

『変顔しろ』って言われたら変顔しちゃうんですっ！！

いひっ……ひっ……？  
……あ？  
あれっ？  
どうして私……？

えっ？えっ？  
あ……つ、『次の変顔』？  
ほっ……！

### [口を「お」の形に大きく開く変顔。そのまま喋るのでうまく発音できない]

ほ、ほひょ……ど、どうですか？  
あ、アイドル失格の……ブサイク顔お……？  
ほ、ほほっ……な、何を言ってるん……ですか？  
い、今どきは……アイドルだってこういう……バラエティ向けのスキルが……ほっ、  
必要なですよほおっ……！  
そ、それに……表情筋のお……ト、トレーニングにも……なるんですよほおっ！

ふほっ！？  
『次の変顔』お！？

え、えっと……

### [舌を出して白目を剥く変顔。暫くそのまま静止]

は……はいっ！

はっ……  
ははう……  
はあ……はあ……

### [変顔をとく]

んはあっ……！

さ、さっきから.....何かおかしい.....！

身体が.....熱くて.....

[また前回と同じように衣服を脱ぎだす]

服を.....っしょ、着てられない.....っ！

ふう.....ふう.....

.....よし、これで大丈夫、かな.....

あなた、今度は私に何をしたんですか.....！？

.....変顔をする度に、発情するようにした.....？

何を言って.....！？

え、『次の変顔』？

[鼻を潰して豚のような変顔をすると、快感が身体を駆け巡り身を振る]

.....っはい！

って、えっ！？

う、嘘嘘っ！？

なんか、のぼって.....っ！

んんんう〜っ.....！？

今、私.....変顔して感じて.....？

そ、そんなことって.....それじゃまるで変態、だよ.....

.....え？

それもいいかも.....？

ど、どういう.....？

.....は？

『今度はそのまま鼻の穴に指を入れろ』？

わ、分かりました.....

[以降は鼻が詰まっているように。ただし聞き取りやすさ重視で。「っぽく」聞こえればいいです]

ん、んが.....っ.....

こ、これでいいでふか.....？

ふえ.....？

[催眠発動S E]

え.....？

[途中でスイッチが入ったように態度が変わり、ぼーとした様子で間抜けな声をあげる。  
徐々にテンションが上がっていく]

あなた、また何.....をおっ！？

.....お？

お、おほ？



.....ほお？  
.....お、おオ、っほ.....ん、んごっ.....  
お？お？  
おお～～.....？

[テンション高く、一瞬間抜けに]

お、おおおっ！！  
ほっ、ほじほじい～♥

[催眠が解けて意識が戻る]

ほへ！？  
.....な、ななっ.....なんですかこれえ！？  
は、鼻に指が.....っ！  
ぬ、抜けない.....！  
そ、それに.....指が鼻の穴を、まさぐる度に.....ほひょっ♥  
にや、にやんでっ.....き、気持ちいいのがあ～.....っ！  
ほっ.....ほじほじっ♥  
んおお.....っ！変な声も、出ちゃうう～.....っ！

[熱にうかされたように、ぽーとした感じで無心に声を発しながら鼻をほじる]

ほあ～～♥  
ほじい～♥  
ほじほじい～♥  
おほお～っ！  
鼻ほじ、きもちいい～.....♥  
ほじほじ、ほじほじい～♥♥

[再度意識が戻る]

んああああ～っ！  
だ、だめえ.....っ！  
あのっ、これ.....止めてえ！  
止めて下さい！

諦めるの？って.....あ、諦めたくないですっ！  
で、でも.....こんなの、嫌.....です.....っ！  
だ、大体こんなことをさせて、楽しいんですか.....！？  
へっ？  
子供向けアニメにいた間抜けなキャラみたいで面白い？  
そ、そんな.....！  
ふざけ.....ほ、ほじほじ.....くあぁっ！  
ま、また手が勝手にィ.....！

[最初はぼんやりとした感じだが徐々に艶っぽく、勢いよくなっていく]

ほじっ、ほじっ、ほじっ、ほじっ、ほじっ、ほじっ、ほじっ.....  
ふ、ふがっ.....やべで.....っ！  
ほっ、ほっ、ほじいっ！

ほじっ！ほじっ！ほじっ！ほ、ほじい♡ほじほじっ、ほじほじいっ♡  
ふへへっ♡鼻ほじっ、き、気持ちいいよお♡

[低く下品な声が混ざり始める]

おほっ♡  
ほじい♡ほじほじい♡  
あゝ あ～～だめですこれえ……♡  
鼻ほじった不細工顔晒しながら感じるなんてえ……♡  
ア、アイドル失格なのにい～……ほ、ほじいっ♡♡  
もっとブス顔見て欲しいって、思っちゃってるう……♡  
んほお～～っ♡ほじほじっ♡  
そ、そんなのだめえ♡  
そんなのアイドルじゃなくてただのド変態ですう～～♡  
あっ、ダメほじっ♡  
へ、変態になっちゃいますう♡♡  
ほ、ほじほじいっ！♡

んごおおおっ♡  
も、もう鼻ほじやめられないい♡  
おあ～～……♡  
もう命令とか……アイドルとか……ど、どーでもいいです……♡  
もっと……もっと鼻ほじりたいのお～～っ♡♡♡

[ここから鼻の下を伸ばしたような間抜けな発声の低音声が基本の状態になりテンションも高くなる]

ほっ、ほっ♡、鼻ほじりィ～～～っ♡♡♡  
うほお～～っ♡  
これ……すごいよお～♡  
鼻ほじっ♡鼻ほじい～っ♡  
おほっ♡おほお♡気持ちいい～♡ほじほじっ♡  
あ～～ん、鼻ほじ最高お～～♡  
ヌホホホホっ♡すごいっ♡鼻ほじすっごお♡  
んごっ……♡お……オ……っ♡  
は……[低音]鼻糞おっ！！♡♡♡  
おオッ！！♡♡♡  
ア、アイドルが鼻糞とか……絶対ダメ♡  
ダ、ダメだけど……♡  
うほひっ♡  
鼻ほじ気持ちよすぎるのお～！♡  
ほほっ、ほじほじほじほじィー！！  
ふほっ♡ふほっ♡

[女を捨てたような野太い声]

ほじっ！ほじっ！鼻ほじっ！！  
鼻糞っ！鼻糞っ！鼻糞ほじほじっ！  
アイドルどころか女の子失格の最低なバカ面で……♡

ほっじほじいい〜〜んんっ！！♥♥♥

[可愛らしく楽しそうにしているが、途中で催眠が解かれ正気(?)に戻る]

ほじほじっ♥

ほじほじっ♥

ほじほっ……っ！？

[絶望しながらも、鼻ほじが無意識化でやめられなくなっている]

う、嘘……わ、私……っ！？

あは、あははははっ……

へ、変態……変態らよお……

こ、こんなこと……鼻ほじ……なんてえ……

ほ、ほほっ……ほじっ……鼻ほじっ……

んっ……！？

おっ……こ、これ……っ！？

は、鼻ほじで……っ！アクメっ！！

はにゃほじブス顔アクメ、くるウッ！！

[鼻に指を突っ込んだ醜い表情のまま絶頂]

んごっ……ふぎよおオーッ！！

[絶頂の余韻。あまりの快感に意識を失いかけながらも鼻ほじは止まらない]

………オッ……！

ふごっ……お……っ！

ほ……ほじっ……

うおっ……！

ふっ……っほ……おおっ……

おお～……

ほじ……ほじいい……

は、はな……ほじ………

### 【3】

うっ……ひっく……うう……  
ひどい……っ！  
ひどいですっ……ぐすっ……  
わ、私は……アイドルになりたいだけに……っ！  
あ、あんな変態みたいなマネ……させるなんて……

……続けて挑戦するか、って……  
もうあなたのいいようにされるのはごめんです！

#### [催眠発動S E]

あっ……ま、また……っ！  
くっ……だ、だめえ……！  
んああ～っ！  
ひっ、ひいっ！？  
また指が……勝手に……っ！  
だめだめっ、だめえ！  
やだやだ！いやああっ！止めてええ～っ！！

#### [意思に反して鼻に指を入れる]

……ほぎょっ！？

#### [暫し沈黙した後、不気味に笑いだす]

……ふひっ……♥  
ふほほほほほホホホーッ♥♥  
はいっ！  
『鼻ほじしろ』って言われちゃったので鼻ほじしますう～！♥♥♥  
はっなほじいい～ッ！！♥♥♥

#### [うっとりとした感じ]

でへっ♥  
でへへっ♥♥  
ほ、本当は嫌なんですよっ！？  
い、嫌だけど命令されちゃったからあ……仕方ないんですう……♥  
ほっほじィ～♥鼻ほじい～っ♥

ほあ～～～♥♥♥  
何で鼻ほじこんなに気持ちいいのお～～？？♥  
鼻ほじィッ！ってしたらあ～、頭ん中までかき回されてるみたいでえ……♥  
ゾクゾクが気持ちよくなって止まらないい～～！♥♥  
ほじほじっ！ほじほじい～っ！

ふええ？  
鼻を一回ほじる度に……一つ記憶を失うようにした……？

あははっ、何を言ってるんですかあ？  
そんなワケ……  
え……？  
あれえ？  
ここ、どこ、だっけ……？  
えっ？あれれ？  
ほ、ほじほじ……っ♥  
ほあっ！？  
あ？  
ありえ……？ほじっ♥  
おおおっ！？  
これやばっ……！  
ほじほじっ♥  
私……っ、何をして……っ！？  
あ、ほじっ♥  
あはっ♥  
ほ、ほんとに記憶消えて……ほ、ほじいっ♥♥

あっはあ～～♥  
気持ちいいけど……だめだよお～♥  
このままじゃ……私の夢も……ほじほじい～♥  
んはあ～？  
夢え……？  
ほじ……  
夢……ゆめ……？  
私の夢って……なんだっけえ……？♥  
ほじっ、ほじっ♥  
おっほ～♥

[素に戻った様子で、ボソリとつぶやく]  
……っていうか、私って……誰だっけ……？

[壊れた笑い声を上げながら下品な行為に没頭]  
えへへっ♥あへへへへっ♥  
おーホホホホホッ♥♥  
鼻ほじ鼻ほじい！♥  
あははっ♥はひやっ♥うきやきやきやきやきやっ♥♥  
ほじ！ほじっ！ほじいい～～っ♥♥  
わかんないわかんない♥  
ほじほじっ♥  
鼻糞ほじりいん♥  
クソブス顔で鼻の穴もの一みそもぐちょぐちょほじりすぎてえ、  
もうぜえ～んぶわかんなくなっちゃったよお～オホホホッ♥♥♥  
おおん♥うほおおん♥♥  
ほじい～～♥♥ほじほじい～っ♥♥  
んごごっ……鼻糞ほじりいいん♥♥♥

んへっ♥  
は、はいい.....♥  
普通に鼻ほじするだけじゃ退屈、なんですねえ？♥  
わかりましたあ〜♥  
『鼻ほじしながらオナニー』しまっしゅ！！♥♥♥

うおっほお〜〜〜っ！！♥♥♥  
鼻ほじしながらのオナニーっ♥  
ヤバすぎィィィィイツ♥♥♥  
ほっ♥ほっ♥  
ほじほじっ♥ほじほじっ♥  
右手で鼻ほじっ♥  
左手でおマンコほじほじっ♥♥  
ほじっ♥ほじっ♥ほじほじィんっ♥  
ウホッ♥ウホッ♥  
さいてー♥私さいてーな格好してるう♥  
クソ下品っ♥変態っ♥バカ女っ♥  
うひっ♥ぐひひっ♥  
どんどん記憶失くしてバカになってるのに♥  
ほじいっ♥  
鼻ほじもマンほじもっ♥  
さいこー♥最高すぎてっ♥♥♥  
っぬホホホホホホ〜っ♥♥♥  
おお〜鼻ほじっ！鼻ほじっ！  
マンコもっ♥ほじほじっ♥ほっじほじっ！！♥♥  
ぶほおっ♥

ほひっ！？  
おっひい〜〜ッ！！  
ほじほじしながらイク！？  
鼻ほじマンほじでイクイクッ♥  
イググう♥  
無様にイキ散らすッ♥♥ほじっ♥♥♥  
ほうっ、ほほうっ.....！♥  
み、見てくださやいっ.....♥  
私の一みそ空っぽになる瞬間っ♥  
じえんぶ忘れてえ.....鼻ほじとマンほじしかできない変態に生まれ変わるによおおおっ♥  
[力を溜めるようなタメ]  
ふほおおおおおおお〜〜〜ッ！！  
[早口で絶頂に上り詰める]  
鼻ほじ鼻ほじ鼻ほじ鼻ほじ鼻ほじ鼻ほじ鼻ほじ鼻ほじいいいいィィィィンンンッッ！！！！♥♥♥

.....おごっ♥  
ほぎよぎよっ.....！！？  
ぶひっ、ぶひい.....っ♥♥

ほごお.....っ♥  
ひっ〜♥ひい〜〜っ♥

ほひっ♥  
イっちゃったあ.....♥  
あたま.....ぶっ飛んじやったよお.....  
へへへっ.....  
鼻水とマン汁で指がびっちょびちょお.....♥  
ふひひっ.....♥

[指を水音強めのバキュームで吸い付く]

ぶちゅう.....じゅるるるるるるるう〜〜〜っ♥  
じゅぽっ、じゅぽっ、ブジュルルルルルルうっ♥♥  
ずぽずぽっ♥  
ぶじゅうううううう〜〜〜っ♥♥♥

[口から離す]

んぽっ♥

うんまあっ♥  
鼻水もっ♥じゅぽっじゅぽっ♥  
んぱあっ.....!  
マン汁もっ♥ズルルルルルッ♥  
うめっ♥じゅぶじゅぶっ♥うんめえっ♥  
ズボボボボボボボーーッ♥♥♥  
んぽおっ♥

うへっ♥うへへへえ♥  
もっと、もっとお.....!

お一つ♥  
ほっじほじ♥  
ほっじほじいん♥  
ニヨホ♥ニヨホ♥  
ほっほー♥  
ほお〜〜っ♥♥♥

ほじほじっ.....ほじほじっ.....  
鼻糞もっ.....ぶじゅるるるるう〜〜〜ん♥♥  
ぐっほー♥♥♥  
おいちいいい〜〜〜ッッ♥♥♥  
タコみたいに唇窄めてえ〜.....  
ブッチュウウウウウウううう〜〜〜っ♥♥  
チュポチュッポッ!  
チュッポポポパァッ!!  
あはっ、アハハハハッ♥

ぶちゅっ、じゅるるるーっ！

じゅぽっ♥じゅぽっ♥

鼻糞うんめえ♥

ウヒヒヒッ♥

ズボボッ♥ジュボボボーッ♥

じゅるり.....んっぱあ.....♥

ふふふ.....♥

ほじほじい.....もっとほじほじィ~~~~ん♥♥

フヒィー——ッ♥♥♥



#### 【4】

[思いつき顔を歪めているような感じ&少女とは思えない低音声]

ほっじい~~~~~ん♥

ぬほ~~~~♥

ふごおお.....♥

豚以下の間抜け面晒してえ.....

ごきげんよお~~~~♥

新人変態ブス顔アイドルのお〜「鼻糞ほじ子」でございますう~~♥

ほじほじい~~っ♥

好物は鼻糞ですう~~♥

ぶひひい♥

ほじ子はあ〜醜く歪んだブス顔晒して感じる変態ですう♥♥

軽蔑されると余計に気持ちよくって.....ふひっ♥

鼻ほじ止まらなくなるによおおおっ♥♥♥

[スピードアップして変態ぶりを見せつける]

ほじほじっ！ほじほじっ！

ほじほじほじほじほじほじほじほじィ！！

鼻糞鼻糞っ！ほっじほじりいいん！！♥♥♥

うっほお~~♥

ぎんもぢいゝゝ ―――ッッ！！

マンコ見せつけながらっ！ほじほじっ♥ほじほじっ♥

ケツを激しく振ってっ！ほっじほじっ！鼻ほじいッ！♥

うわ―――っ！♥

うっひゃあああ~~っ♥♥♥

変態鼻ほじ最高すぎるうーっ！

変態アイドルになれてよかった―――っ！

鼻ほじ鼻ほじ鼻ほじ鼻ほじィっ！

んごごお~~っ！♥♥

[催眠発動SE、居眠りから覚めたように正気に戻る]

.....ふごっ！？

あ、あれ.....？

ここは.....ス、ステージ！？

と、いうことは私.....アイドルになれたの.....！？

やったあ~~っ！

.....へ？

え？何で私.....裸、なの.....？

い、いや.....嘘.....っ！？

嘘うそうそっ！？  
や、やだぁ！  
見ないでえっ！！  
こっち見ないでよお——っ！？

[催眠発動S E、変態化]

.....あへっ？

いやぁ～～ん♥♥  
今のはじょ・う・だ・ん♥  
ホントは見てえ～～ン♥  
不細工ほじほじ女のおっぴろげた鼻マンコっ♥  
見てえ～～～♥♥

んほお～～～～っ♥  
見てっ♥見てえっ♥  
おオオ～ッ！  
見ろっ！オイッ！見ろお～～っ！！♥♥  
ホレホレえ～～ッ！！

[催眠発動S E、正氣に戻る]

.....うあああっ！？  
いやっ！いやだぁ！

[催眠発動S E、変態化]

んっほお～～～んっ！  
ほじほじ——っ！！  
ほっじほじいい～～っ！  
うほほほ～っ♥♥

[催眠発動S E、正氣に戻る]

.....ああ.....っ！  
もうやめ.....っ！  
もうやべでえ.....っ！  
いやぁ.....鼻ほじ、嫌ぁ.....！  
お願いしま.....ほじっ、ほじっ.....♥  
ああああっ、嘘っ、ちがっ.....！

[催眠発動S E、変態化]

おっひよお～～ん♥♥  
ほじほじい♥  
鼻糞っ♥鼻糞おおッ！！

[催眠発動S E、正氣に戻る]

ほじっ！ほじっ！ほじっ！  
えっ！？

ほじっ♥  
んはあっ！  
ほ、ほじほじっ♥  
ふ……ふひっ♥  
あ、き、気持ちいい……っ♥

[催眠発動S E、変態化]

ふ、ふふ……、ふふふっ……ほじ……ほじい♥  
んおおおおおおお～っ♥  
も、もう我慢できないよお～～っ！！  
ほじるのお！  
鼻もおマンコもほじりまくっちゃうのオっ！！♥  
あっははっ♥  
ほじほじい♥  
イエーイ！ピース！ピース！  
鼻ほじアイドルだじょー♥ウヒッヒヒヒッ♥  
ダブルピースでえ……ほじほじ——ッ！！  
ウッヒョ——！！ぎんもちいい～っ♥

うほっ♥  
ふひひい♥  
ほっ、じっ、ほっ、じっ♥  
最高っ！最高～～っ！！  
んほほほ～～う♥♥  
豚鼻になるぐらい鼻の穴おっぴろげてえ♥  
鼻毛も丸見え～♥  
いやあ～ん、恥ずかしい～♥  
恥ずかしくて、照れ隠しのマンほじオナニー止まらないほじい～♥♥♥

ほっ♥ほっ♥ほっ♥ほっ♥ほっ♥  
ぬほっ♥ほほっ♥  
うっ♥うひい——っ♥♥♥  
ステージでお下劣ほじほじオナニー！  
オッヒョオ～～ッ！  
ブス顔アイドルらしく、クッソ不細工な顔晒してイっちゃいまあ～っず♥♥  
ふごごっ♥んごおッ！♥♥

あーイク♥  
イク♥イグ♥  
ンぬっっほお` お` お` お` オ` ッ！！♥♥♥  
鼻ほじィッ！！♥♥  
フンッ♥フン` ——ッ！！♥♥♥  
イッッッグウ————ッ！！♥♥♥

[催眠発動S E、イク寸前に正気に戻される。戸惑いながらも、勝手に指が鼻を刺激し、絶頂を迎えてしまう]

えっ！？  
やっ、いやああ——っ！！  
ダメッ！イッちゃ……ほ、ほじいッ！！♥♥♥

[可愛らしく、気の緩んだ声]

……ほあッ♥

[最初は可愛く不思議がるように。徐々に野太くおっさんのようになっていく。そして最後は鼻の下をのばした好色顔と間抜けな声をあげて絶頂する]

ほ？♥  
お、おおっ！？  
お？おオッ♥お？オッ？  
オオッ！？おほ♥うおッ！？  
おおおお？おおおおオッ？！？！  
おほっ♥おほほほっ♥  
うっほ♥  
どッほお` お` お` お` お` オ` オ` お` お` お` お` オ` お` オ` ん` ッ！？！？！！？  
♥♥♥♥♥♥

[虚ろな表情でうめき声をあげる]

お———……  
おオお———ん……  
おっふ♥  
うおオ……♥  
ぬほ♥  
お———……♥  
  
ぽ———っ♥  
ほほっ♥  
ほじ……ほじい……♥

<終>